

琉球大学学術リポジトリ

沖縄の産業経済の現状と課題

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮城, 弘岩 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017421

【 特別講演資料 】

○ 沖縄の産業経済の現状と課題

社団法人 沖縄県工業連合会 専務理事 宮城弘岩

沖縄の中で沖縄を見る限りビジョンは出てこない。ビジョンの弱い沖縄の産業振興が実を結ぶことも困難である。沖縄の産業構造や経済体質がどんなに時間をかけても変わりえない。復帰以降をみても何ら変わっていない現状をどう理解するか、今一度反省したい。

技術の背景には必ず思想があり、ビジョンがある。独自の思想をもちえなければ独自の技術開発もない。そのため、外からはいつてきたもの以上の技術開発は極めて少なく、また、産業としての進展も見られない。社会そのものが技術を軽視するものをもっており、政治も、経済も技術に光をあてることは少なく、大学も現実からかなり離れた位置を保っており、産業界との交流も話し合いも少ない。そのため、産業振興に不可欠の技術分野への人材が育っておらず、産業界も技術開発がどんなに時間と金がかかるものかも理解していない。だから産業振興が空振りに終わってしまう。

その実、産業界は人材や技術開発には相当枯渇する状況にあって、今必要とする人材をも学校等は提供できない。国際化の中で見えて来た沖縄経済の自立化に向けて、その提言をしていきたい。